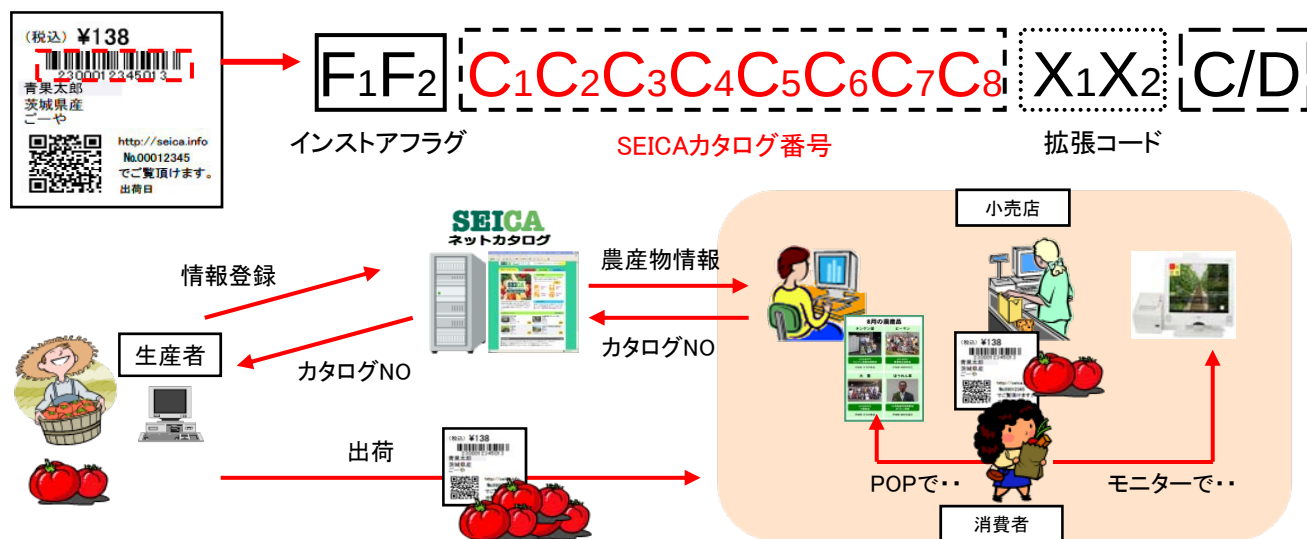


生産情報開示POSシステム

— SEICAを利用して信頼性確保と販売管理の同時実現 —

技術の特徴

SEICAカタログNo.を商品バーコードとして利用することで、
販売管理と同時に農産物情報の活用が可能になりました。



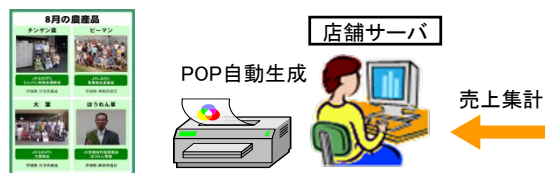
販売時点情報開示

バーコードに含まれるSEICAカタログ番号を元に、レジ打ちの際、情報開示端末でSEICAに登録されている農産物や生産者の画像や紹介することが出来ます。



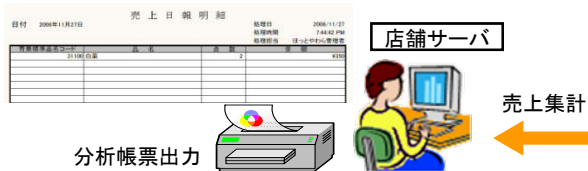
売上ランキングPOP生成

売上集計から人気の農産物をランキング。SEICAからダウンロードされる画像情報やコメント情報を組み合わせ、ランキング上位品目のPOPを自動生成します。（*実証実験を通じ、システム化の予定）



標準品名コードで集計・分析

レジで登録された売上データは青果流通の日本標準品目分類コード（青果標準品名コード）で集計することが出来ます。SEICAから標準品名コードを自動取得するので、マスタメンテナンスの手間を軽減します。



農産物のソースマーキングへの応用の期待！